

業務別仕様書（清掃業務）

この業務別仕様書（清掃業務）は、公立大学法人大阪府立大学（以下「発注者」という。）が受注者〇〇〇〇〇（以下「受注者」という。）に対し、大阪府立大学羽曳野キャンパスの学舎清掃業務委託の実施に関してその内容を示すものである。

ただし、本仕様書に記載されていない事項でも、建物等の管理保全及び美観保持のために必要と認められる軽微な作業は、契約金額の範囲内でこれを実施するものとする。また、作業基準表の一部について軽微な変更があった場合は、発注者受注者協議の上、契約金額の範囲内でこれを実施するものとする。

1 清掃業務に関する共通事項

（１） 作業場所及び作業内容

羽曳野キャンパスの建物内及び敷地内

別紙清掃作業基準表のとおりとし、必要な人員を配置する。

（２） 作業時期及び時間

ア 日常清掃の作業の時期及び時間は、委託期間中の土曜日、日曜日、祝日及び休日並びに年末年始（１２月２９日から１月３日まで）を除く毎日午前７時から午後５時までの間とする。

但し、祝日授業日がある場合は日常清掃を実施し、振替休講日を休日とする。

イ 定期清掃は、後記のとおり実施するものとする。

（３） 服務規律

ア 作業員は学内において一定の服装を着用し、常に清潔を保つよう努めること。

イ 作業員は、学内において書類の閲覧、複写等の一切の諜報行為をしてはならない。また、机の引き出し、書類保管庫等を開閉してはならない。

ウ 什器、備品その他設置物の移動は極力避け、作業遂行の必要上移動させたものは原状に復しておくこと。

（４） 負担区分

ア 業務に必要な資機材は、受注者の負担とする。

- イ 業務に必要な光熱水費は、発注者の負担とするが、極力無駄のないようにすること。
- ウ 業務に必要な控え室、資材置場及びこれらの部屋の家具什器類は、発注者が無償で提供する。
- エ 衛生消耗品(トイレットペーパー、手洗い石鹼液、ごみ・汚物袋等)は、受注者の負担とする。ただし、一般廃棄物(可燃物)収集用の羽曳野市指定のごみ袋は発注者の負担とする。

2 日常清掃仕様

(1) 屋内清掃

- ア 建物内の作業基準は、別添「清掃作業実施基準表」のとおりとする。
但し、夏季休業等の長期の休業期間中は清掃頻度を低くし、他室への振替清掃を実施する場合がある。
- イ 大学の教職員が、常時執務する建物の共用部分及び執務室内は、毎朝執務時間開始前に清掃を終了すること。
- ウ 教室及び上記以外の共用部分は、授業に支障がないようスケジュールを作成し、所定の作業時間内に清掃を終了すること。
- エ 床面は、床の素材に適した掃き、拭き、吸塵作業を、作業実施基準に基づき実施するとともに、作業時間内に巡回清掃を行い、美観が保たれるようにすること。
- オ 出入口に常設されている靴拭きマットは、週1回程度取り外し、下の泥を取り除くこと。
- カ 黒板消しは、適時、黒板消しクリーナーによって清掃を行なうこと。
- キ 各学部、学科の研究室(個人研究室を除く。)及び各会議室の洗面化粧台は、清掃対象とする。また、各学部、学科の実習室の洗面流し台についても清掃対象とする。
- ク 扉の握手、階段の手摺、流し台、洗面所、便所等の金属部分及び衛生陶器は、適切な洗剤で錆又は汚染を除去し、磨き上げること。
- ケ 鏡は、布で拭き、汚染手垢等の部分は、適切な洗剤で拭き取ること。
- コ パトロール清掃により便所、通路等の著しい汚染の洗浄又は緊急を要する清掃を行い、併せてトイレットペーパー、石鹼液等の補給を行なうこと。
特に、トイレットペーパー、石鹼液は1日1回以上点検し、常時途切れないう補給作業

を行なうこと。

サ 一般廃棄物(可燃物)は、発注者より支給する羽曳野市指定のごみ袋に入れ、所定の場所に置くこと。

また、粗大ごみ及び資源ごみ(紙類、缶、びん、ペットボトル等)については、まとめて所定の場所に置くこと。

シ 屋外喫煙所の灰皿は、吸殻等内容物を除去し、内容物は火の元に万全を期したうえで、適正に処分すること。

ス 各棟入り口、通路等の蜘蛛の巣の除去及びガラス清掃を随時行うこと。

(2) 屋外清掃

ア 建物周辺の敷地、緑地、周辺道路等の清掃については、パトロール清掃等により適時、塵芥、雑草及び落ち葉等を除去し、必要に応じて水洗浄を行なう等、常に美観を保つよう努めること。

イ 側溝及び会所は、汚泥、落葉、塵芥を除去し、雨水等の詰まりを防ぐこと。

特に大学が指示する大学敷地の北側部分及びテニスコート西側部分については、隣地所有者から苦情が出ないように、随時清掃すること。

ウ ごみ置場周辺を整理し、清潔の保持を図るとともに、同所に設置しているジャンボペールの内部は随時洗浄すること。

(3) 施設維持

ア 建物にかかる簡易な修繕及び簡易な工作物の作業

イ 道路等の簡易な修繕

ウ 教育、研究その他甲が必要とする木製品の製作、木製品の修繕及びそれらの取り付け等の作業

エ 木製品の廃用品の減量化に関する補助作業

3 定期清掃仕様

(1) 作業計画の策定

清掃対象施設の全ての床面について、別添清掃作業基準表に記載の回数を実施できるよう計画を策定し、甲の承認を得て実施すること。

ただし、日程は別途指示する。

(2) 作業方法

ア ワックス塗布は、洗浄場所の床材に適合した洗剤により付着汚物を水洗除去した後、ワックスを塗布し、ポリッシャーによって研磨仕上げをすること。

イ 床面洗浄は、洗浄場所の床材に適合した洗剤により、付着汚物を水洗除去した後、乾拭き仕上げとすること。

4 その他

(1) 作業心得

ア 作業実施中、建物及び什器類の破損又は不審物を発見した場合は、速やかに発注者に報告し、その指示に従うこと。

イ 電気器具は、使用にあたり事故のないように注意すること。

ウ 引火性ガソリン、ベンジン等の薬品の使用又は騒音等を生じる作業は、発注者の指示を受けること。

エ O A機器、実験用機材等精密機器の設置してある箇所の清掃は、特に故障の原因とならないよう、塵芥、火気、静電気等に注意すること。

(2) 作業報告書

日常清掃及び定期清掃の実施については、別途指定する様式で作業報告を行うこと。